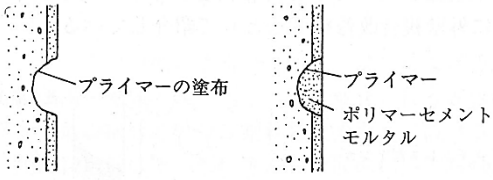



最終更新日 H25.3.1
改修技術 No. 11111502

性能分野	耐久性・耐用性		
大分類	劣化部分の補修、外力の緩和		
中分類	浮き、欠損及び剥落部の補修		
技術の名称	タイル外壁等の補修（張替（塗替）工法）		
改修技術の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイル、モルタル塗り外壁の欠損部を補修する工法で、劣化部を除去した後、新たにタイルやモルタルを施工する。一般的に欠損部の補修にはポリマーセメントモルタルが使用される。また、タイルの再施工には、タイル張付けモルタルが使用されることが多いが、剥落が生じる危険があるときには弾性接着剤を用いる場合がある。</li> <li>・欠損部の大きさが 0.25 m<sup>2</sup>未満の場合は充填工法*とする。 ※工事内容は構造躯体断面修復改修（左官工法）（No. 11111601）と同じ</li> <li>・欠損部の大きさが 0.25 m<sup>2</sup>以上の場合は張替（塗替）工法とする。</li> </ul>		
	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <pre> graph TD     A[欠損部の除去] --&gt; B[清掃]     B --&gt; C[プライマー塗布]     C --&gt; D[補修材による断面修復]     D --&gt; E[充填工法*]     D --&gt; F[塗替工法]     E --&gt; G[下地調整]     F --&gt; G     G --&gt; H[塗装・タイルの施工]                     </pre> </div> <div style="flex: 1;">  <p>（出典：建築改修工事監理指針 平成 22 年版（財）建築保全センター）</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;">  <p>補修の様子</p> </div>		
共同住宅のタイプごとの技術の適用	技術の種類	<input type="checkbox"/> 調査・診断技術 <input checked="" type="checkbox"/> 改修技術（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化を補修する技術 <input type="checkbox"/> 性能を向上させる技術）	
	共同住宅のタイプごとの適用可能性	S55 年以前供給 中層階段室・壁式（総プロA1）	使われる可能性が相当ある
		S55 年以前供給 高層・ラーメン（総プロA2）	使われる可能性が相当ある
		S56～H2 年供給（総プロB）	使われる可能性が相当ある
		H3～12 年供給（総プロC）	使われる可能性が相当ある
		H13 年以降供給（総プロD）	使われる可能性が相当ある
		（補足） —	
	改修後の性能 欠損部の修復		

常にセットで利用される技術		<当技術を適用する前に実施する調査・診断技術> タイル等の浮きの調査 (No. 21111106)
技術が適用される建物の部位		<input checked="" type="checkbox"/> 共用部分 ( <input checked="" type="checkbox"/> 躯体・外壁 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 設備・配管等 <input type="checkbox"/> その他共用部 ) <input type="checkbox"/> 専有部分 ( <input type="checkbox"/> 設備・配管 <input type="checkbox"/> その他専用部 ) [ 設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 ( ) <input type="checkbox"/> 注意すべき主な法令 ( ) ]
団地で適用した場合のメリット		<input type="checkbox"/> 住棟まわりの土地が利用できること (仮設以外) ( ) <input type="checkbox"/> まとまった土地が利用できること (仮設以外) ( ) <input type="checkbox"/> 住宅の数が多く密度が高い ( ) <input type="checkbox"/> 特定の設備があること ( )
足場の設置が必要		<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 ( )
工事による居住者への影響	数日以上居住できない住戸が発生	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 ( )
	一時的な影響が発生	<input type="checkbox"/> 断水などライフラインが一時的に利用不可 <input checked="" type="checkbox"/> 振動 <input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 粉塵 <input type="checkbox"/> 臭気 <input type="checkbox"/> その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 ( )
	工事後に続く影響が発生	<input type="checkbox"/> 専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限 ( ) <input type="checkbox"/> 日照・採光等への影響 ( )
当該技術が利用される工事		<input checked="" type="checkbox"/> 計画修繕工事 ( <input checked="" type="checkbox"/> 劣化の補修 <input type="checkbox"/> 性能の向上 ) <input type="checkbox"/> 耐震改修工事 ( <input type="checkbox"/> 耐震性の向上 <input type="checkbox"/> 他の性能の向上 )
技術的境界		—
参考資料	技術情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 平成 22 年版」(財) 建築保全センター</li> <li>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事監理指針 平成 22 年版」(財) 建築保全センター</li> </ul>
	価格情報	・「マンション Re」(一財) 経済調査会